

平成23年度埼玉県推奨図書審査票

[対象区分: 乳幼児向け]

諮問番号	図書名等	内 容	推奨の有無
1331	福音館書店 ¥840 多田多恵子/さく 堀川理万子/え	ぼくがひろったまつぼっくり。そとにならべておいたら、あれ？ふしぎ。あめがふったら ちいさくなっちゃった。みぢかな まつぼっくりのふしぎがいっぱい。おもわずためしたくなる ちいさい子からのしめる かがくのえほん。「まつぼっくりてじな」ものっているよ。	
		推奨図書選定理由	
		男の子の視点で、身近なまつぼっくりの意外な面が描かれている。薄い羽根みたいな種がひらひら落ちたり、雨にぬれると閉じ、乾くと開くのもびっくり！「まつぼっくりてじな」は思わず試したくなるほど魅力的。幼い子から楽しめる科学の絵本。	
1332	岩崎書店 ¥840 薮内正幸/作・絵	ここは しりとりどうぶつえん。「らっこ」のつぎは「こあら」。「こあら」のつぎは「らくだ」。「だ」のつぎは、なんだろう？ほんものみたいな どうぶつのおやこが、つぎつぎでてるよ。よくみてみよう。にている およこばかりじゃないよ。	
		推奨図書選定理由	
		表紙の「らっこ」から始まり、次は「こあら」、「らくだ」…。ページをめくると見開きいっぱい動物の親子が描かれている。しりとりになっているので、「つぎはなにかな」と予想するのも楽しい。雄と雌、親と子で違いのある動物の姿もきちんと描かれている。動物の生態を正確に描いた温かみのある絵。読み聞かせにも最適。	
1333	講談社 ¥1,575 ヒヨンドク/ぶん チョウミエ/え かみやにじ/やく	ちいさなおとこの子のノマは、ダンボールできしゃをつくることを おもいつきます。ひとつひとつ かんがえて、わからないところはほんでしらべます。えんぴつでかいて、はさみできって、どうとうできました！つくるよるこびがたつたわ おとなりの国、韓国(かんこく)のえほんです。	
		推奨図書選定理由	
		小さな男の子のノマが、ダンボールで汽車を作ることを思いつく。考えて、調べて、工夫して汽車を作りあげた男の子の誇らしい気持ちがよく伝わってくる。ものを作り出す喜びが描かれている絵本。少し昔の韓国の家庭の暮らしぶりがかいま見えて、興味深い。絵も丁寧で美しい。	
1334	あすなる書房 ¥1,365 マイラ・ベリーブラウン/作 ドロシー・マリノ/絵 まさきりこ/訳	ベンジーは あかちゃんのときの もうふがだいすきで、どこにいくにもいつもちあるいていました。もうぼろぎれのようになりましたが、てばなせません。でもあるひ、ないばかりの こねこにあつて、ベンジーはついに…。子どものせいちようをあざやかにえがいたえほん。	
		推奨図書選定理由	
		小さな男の子のベンジーは、赤ちゃんの時から使っている毛布が大好き。ぼろ切れのようになった大事な毛布を、手放すことができるようになるまでのお話。子どもの成長を鮮やかに描いている。見守る周りの大人の視線が温かい。温かみのある絵。黒とオレンジの2色刷りが効果的に使われている。	
1335	福音館書店 ¥840 神沢利子/さく 山内ふじ江/え	「あかい テントで ねてるの だあれ」「まんまる おかおの ほおずきあかちゃん」「からから ゆりかごで ねてるの だあれ？」らっかせい、そらまめ、くり…。かわをむくと なかは どうなっているのかな？くりかえしが 心地よい ちいさい子からのしめる えほんです。	
		推奨図書選定理由	
		「あかい テントで ねてるの だあれ」「まんまる おかおの ほおずきあかちゃん」という具合に、見開きごとに植物とその中身を描いている絵本。見開きには対象物のみ描かれ、十分に空白があり、写実的でありながら温かみのある絵。よく見ると、中身が顔になっているところも魅力的。ことばも優しい語り口で、くり返し心地良く、幼年にぴったりの絵本。	

平成23年度埼玉県推奨図書審査票

[対象区分: 小学校低学年向け]

諮問番号	図書名等	内 容	推奨の有無
1336	通学路の草花えほん PHP研究所 ¥1,470 大島加奈子/作・絵	まやちゃんは2年生。学校が終わると「ほうかごかんさつたい」に出発です。通学路が探検ロード。春の葉っぱははやわらかい緑色。虫もいます。夏の植物は力強い。ザクロの花も咲きました。秋は…。冬は…。季節とともに形や色を変えていく植物の様子を、1年を通して取り上げてる草花の絵本である。	
		推奨図書選定理由	
		まやちゃんの目を通して通学路に咲いている四季の草花を紹介している。子どもたちの関心がある花や、草、木々、どんぐり、落ち葉などが、精密に描かれている。著者が実際に観察して描いた草花や、秋のおちばのページは、親しみやすい植物図鑑として、身の回りの植物に興味を持つことができる本である。	
1337	パパは すてきな男のおばさん BL出版 ¥1,260 石井睦美/文 あおきひろえ/絵	まりの家は、ママが働いていてパパが家のことをしている。授業参観にもパパが来た。友だちはおかしいと笑うけど、一緒に散歩するのも、熱が出た時にお医者につれてってくれるのも、パパだ。パパが家にいるのと、ママが家にいるのとどっちがいいか。まだきめられなくて、ずっと考えている。	
		推奨図書選定理由	
		母親と父親の役割が逆転している家庭のお話である。男は外で仕事、女は家で家事という固定観念は変わりつつあるが、まだ根強い部分もある。このお話は、父親、母親に対する子どもの思いや願いを中心に展開されていて、現代の家庭をうまく捉えている。親たちにも一緒に読んで欲しい1冊である。	
1338	ほんなんてだいきらい！ 主婦の友社 ¥1,365 バーバラ・ポットナー/ぶん マイケル・エンバリー/え さんべりつこ/やく	本が大嫌いで、読書週間なんて無くなりやいと思っている1年生の女の子。図書の時間がうとうしいが、5月の読書週間で本の発表をしなくちゃいけない。本が見つからないわたしに、おかあさんが「おまえはほまいたい…」といった一言で大好きな一冊を見つけるお話です。	
		推奨図書選定理由	
		本が大嫌いな女の子が、先生の言葉と、母親の助言で大好きな一冊を見つける。さし絵も、楽しく色がきれい。子どもが知っているお話もたくさん出てくる。主人公の私が好きになる本も意外性がある、本に興味を持たせる方法としても面白い。	
1339	かえてきたドロコ 文研出版 ¥1,365 みやもとただお/著	強いノラネコのドロコは、弱虫のマルくんを助けてマルくんちのねこになる。ご飯はいっぱい食べられるし、一緒に遊んだり寝たり、とっても楽しい生活だった。そんなある日、突然病気になってしまい、強いねこじゃなくなってしまった。でも、家を出たおいらを助けてくれたのはマルくんだった。	
		推奨図書選定理由	
		弱虫だったマルくんが、ノラネコのドロコとの心の交流を通して強くなっていく様子や、弱い物をいたわるやさしさを学ぶことができるお話である。また、さし絵に出てくるマルくんやドロコの表情が印象的で、気持ちが伝わってくる。	
1340	ケンタのとりのす だいさくせん 文溪堂 ¥1,260 山下美樹/作 市居みか/絵	ケンタはおふろが大嫌い。頭を洗うのはもっと嫌い。そんなケンタが思いついたことは、自分のモジャモジャ頭を鳥の巣に貸してあげること。頭の巣にいる鳥を落とさないように、腰が痛くても首が痛くても頑張るケンタ。最初は、とってもいい考えだと思ったけれどやっぱりだめだった。	
		推奨図書選定理由	
		おふろ嫌い、頭を洗うの嫌いというケンタに共感する子もいるだろう。ケンタは自分の思いを遂げるのに一生懸命だが、小鳥や卵のことを思うやさしさに共感できるお話である。また、自分の頭が巣になったらどうなるのかなど、想像を広げて読む楽しさも味わえる本である。	

平成23年度埼玉県推奨図書審査票

[対象区分：小学校中学年向け]

諮問番号	図書名等	内 容	推奨の有無
1341	氷の海を追ってきたクロ 学研マーケティング ¥1,260 井上こみち/文 ミヤハラヨウコ/絵	太平洋戦争が終わっても、帰国できずにシベリアの地で働かされていた日本人たちがいます。そんな人々の心をなぐさめたのは、1匹の黒い犬でした。この犬のおかげで、辛い生活を強いられていた人々の心がいやされ、生きる力をもつことができました。	
		推奨図書選定理由	
		広島、長崎の原爆のことや終戦記念日のことについては、毎年話題になるが、シベリア抑留のことはあまり知られていない。抑留生活の中で本当にあったことを基に子どもたちにもわかるように描かれている。戦争中だけでなく、そのあとまで人々の心を傷つけてしまう戦争の恐ろしさをぜひ、子どもたちに知ってほしい。	
1342	パパとミッポと海の1号室 岩崎書店 ¥1,365 田部智子/作 小倉正巳/絵	パパとミッポが住んでいるのは、魔法が振りかけられたマンション。このマンションを舞台に次々と不思議なことが起こります。ミッポの親友のチェリちゃんの初恋や管理人さんの不可解な行動などを織り交ぜながら話が展開していくファンタジーです。	
		推奨図書選定理由	
		現実にはない不思議なことが次々におこるマンションに住む小学生が主人公の話である。自分がこんなマンションに住んでいたらどうだろうと思わせるような、夢のある世界で心を遊ばせることができる本である。	
1343	「けんぼう」のおはなし 講談社 ¥1,365 井上ひさし/原案 武田美穂/絵	日本国憲法の大切さを訴え続けた作家 井上ひさし氏が小学生に「向って話したことをもとに作った絵本です。日本国憲法の理念を武田美穂さんのかわいい絵を交えながら子どもたちにわかりやすく作られています。	
		推奨図書選定理由	
		憲法については、社会科で小学校6年生で学ぶが、内容は子どもたちにとって難しい。その難しい憲法について、井上ひさし氏がわかりやすく小学生に向かって話したことを基にして作られた絵本である。武田美穂さんの親しみのある挿絵もよい。	
1344	フリードリヒばあさん 光村教育図書 ¥1,470 ハイツ・ヤーニッシュ/文 ヘルガ・バンシュ/絵 関口裕昭/訳	フリードリヒばあさんは、好奇心が強く、忍耐強く、怪力で・・・魅力的な91歳のおばあさんです。となりに住むぼくといろいろな話をします。少年とおばあさんとの交流を描く、心温まるベルギーの絵本です。	
		推奨図書選定理由	
		日本社会も高齢化が進み、子どもたちの周りにもたくさんの高齢者がいる。この本には、肉親ではないが、少年とおばあさんの微笑ましい関わりが描かれている。子どもたちに高齢者を尊敬し、労ることの大切さを自然に伝えてくれる本である。	
1345	アラスカ無人島だより 教育出版 ¥1,785 松本紀生/著	アラスカの無人島に一人でキャンプをし、命豊かな自然を写真に撮っている若いカメラマンがいます。ザトウクジラの雄大な写真、ふかふかのこけにおおわれた森、トドの群れ、・・・そして人々との温かい触れ合いが伝わってくる写真絵本です。	
		推奨図書選定理由	
		アラスカの自然の雄大さが伝わってくる写真が素晴らしい。日本人の青年が体験したアラスカの生の姿が読む人の心を打つ。世界中からアラスカにやってくる観光客との触れ合いのようすも、人との関わり合いの大切さを子どもたちに教えてくれる。	

平成23年度埼玉県推奨図書審査票

[対象区分：小学校高学年向け]

諮問番号	図書名等	内 容	推奨の有無
1346	くじらの歌 岩波書店 ¥1,680 ウーリー・オルレブ/作 下田昌克/絵 母袋夏生/訳	アメリカに生まれ育ったミハエルはおじいちゃんの住むイスラエルに移住します。本がいっぱいの宝箱のような家に住むおじいちゃんは自分の夢の中に人をつれていかれるという不思議な力をもっています。二人が心を通わせていくお話です。	
		推奨図書選定理由	
		文章もしっかりとしていて読み応えのある作品である。おじいちゃんと少年は物の値段的な価値ではなくそこに込められた人の思いを感じられる人間的な魅力のある人物。想像の力の大切さも感じられる1冊である。	
1347	風よ！カナの島へ 国土社 ¥1,365 森夏月/作 下平けいすけ/絵	小学校5年生の夏菜は天の島から引っ越しをしてお母さんと暮らせるようになるが生まれ育った天の島への思いが断ち切れず元気が出ない。その夏菜を励ますために一緒に天の島へ行く太一。二人は色々な人に出会い、たくましく成長していく。	
		推奨図書選定理由	
		転校で学校に慣れない女の子、泳ぎが苦手な男の子。どこにでもいそうな二人を身近な存在に感じられ、お話の世界に入り込んで読める。あたたかい人間関係を感じ、奄美の美しい海と島言葉もよい味わいを出している。	
1348	希望の力 PHP研究所 ¥1,260 フジコ・ヘミング/著	フジコ・ヘミングがピアニストになるという夢をかなえ活躍しながらも、多くの挫折や苦難を乗り越えて力強く生きている姿が描かれている。子どもの心にまっすぐに届く勇気と希望の言葉がすばらしい1冊である。	
		推奨図書選定理由	
		多くの苦難に出会いながらも決して自分の夢をあきらめることなく力強く生きているフジコ・ヘミングが書いた自叙伝のような作品。一つひとつの力強い言葉とその時々のお話が読者に勇気を与える1冊である。	
1349	変わり者ピッポ 光村教育図書 ¥1,680 トレイシー・E・ファーン/文 ポー・エストラダ/絵 片岡しのぶ/訳	皆から「変わり者」と呼ばれていたピッポがフィレンツェの大聖堂のドームを作るコンテストに参加する。1度は受け入れてもらえないが諦めずに設計図を描き続け、多くの人から支持されるようになったノンフィクション絵本である。	
		推奨図書選定理由	
		「変わり者」と呼ばれながらも自分を信じて努力を怠らない生き方が読み手の心に残る。人の非難ばかりしている人間は結局多くの人々の支持を得られない。ノンフィクション絵本なので、絵も美しい作品である。	
1350	旅するウサギ 小峰書店 ¥1,470 竹下文子/作 大庭賢哉/絵	ウサギであるぼくが色々な所に旅をして、様々な体験をしたり出会いがあったりする。驚きや冒険のような派手さはないが、ほのぼのとした短い24のお話の連続で男の子にも読みやすい作品である。	
		推奨図書選定理由	
		どきどき、わくわくするようなお話ではないが、田舎をゆったりと旅をしているようなほのぼのとしたお話である。ウサギのアルバムを見るような挿絵も入っていて、朝の読書などの限られた時間にも読める作品である。	

平成23年度埼玉県推奨図書審査票

[対象区分: 中学校向け]

諮問番号	図書名等	内 容	推奨の有無
1351	<p>ジキル博士とハイド氏</p> <p>小峰書店 ¥2,520</p> <p>ロバート・ルイス・スティーヴンソン/原作 リュック・ルフォール/再話 リュドヴィック・ドバーム/絵 こだましおり/訳</p>	<p>善と悪の両極端に苦しむ二重人格者を描いた『ジキル博士とハイド氏』。世界の文学界に多大な影響を与えた不朽の名作を重厚な挿絵とともに味わう絵本。</p> <p>推奨図書選定理由</p> <p>原作の舞台となったヴィクトリア朝時代のロンドンの重厚な雰囲気が強く感じられるモノトーンの絵と、各章の冒頭にある顔のスケッチが効果的で、わかりやすい文章と相まって二重人格の不気味さと人間の弱さを強く感じることができる作品である。原作のかおりが絵本全体から漂ってくるような作品になっている。</p>	
1352	<p>アラスカの詩 めぐる季節の物語</p> <p>新日本出版社 ¥1,575 星野道夫/著</p>	<p>長く厳しい冬がようやく春を迎え、つかの間の夏から燃える秋へと劇的に移ろう。アラスカ大自然の営みと人々の暮らしをみずみずしくつづったフォトエッセイ。</p> <p>推奨図書選定理由</p> <p>カラーと白黒を交えた美しいアラスカの写真と、歯切れよく読みやすい文章が、厳しくも限りなく美しい極北の大自然の魅力を余すところなく伝えている。自然に対する尊崇の念や愛が生まれるきっかけとなるような作品である。</p>	
1353	<p>ピーティ</p> <p>鈴木出版 ¥1,575</p> <p>ベン・マイケルセン/作 千葉茂樹/訳</p>	<p>生まれてすぐに知的障害があると誤解され、人生の大半を施設で過ごしてきたピーティは、それでも感謝の気持ちを失わない。自分ひとりでは動くこともできないピーティが、転校続きの暮らしにうつうつとしていたトレバーにくれたのは…。</p> <p>推奨図書選定理由</p> <p>障害者が社会でどの様に扱われてきたかという歴史を背景に、自らの意思ではほとんど動くことのできない主人公がやさしい心を持ち続け、自分の人生を生き切った姿を描く。第1部の話が第2部に比べてやや長く感じられるものの、生きることの素晴らしさを訴えている作品なので、推奨したい。</p>	
1354	<p>ソルハ</p> <p>あかね書房 ¥1,470</p> <p>帚木蓬生/著</p>	<p>アフガニスタンの内戦、平和をもたらしたかに見えたタリバン支配下での生活。小説ではあるが、事実のように物語が展開していく。少女の身に起こる日常の出来事の重なり。知ることのできない他国の様子が語られている。最後にある「アフガニスタンという国」という文章で、より理解が深まる。</p> <p>推奨図書選定理由</p> <p>自国の文化についても未知の部分がある年代ではあるが、それと同時に豊かな感受性を持ち合わせているこの時期の子供たちが、わかりやすくアフガニスタンという国を理解できる入門書のような本。また同年代の主人公ビビの成長に、自分を重ね合わせて、考えることもできる。</p>	
1355	<p>ミンティたちの 森のかくれ家</p> <p>文溪堂 ¥1,680</p> <p>キャロル・ライリー・ブリンク/著 谷口由美子/訳 中村悦子/絵</p>	<p>舞台は世界恐慌で街中に失業者があふれていたアメリカ。ミンティとエッグズは、パパと一緒に街を出て、叔母のところへ向かう。しかしその途中、車が故障し立ち往生してしまう。困った一家の目の前には一軒の別荘が。最初は1泊だけの予定だったが…。</p> <p>推奨図書選定理由</p> <p>世界恐慌下にあるということを感じさせないほど、明るく温かい一家がある。思いやりの心、父親への尊敬の念、諦めない心が随所に描かれている。厳しい状況下でも、希望を持ち生きていく力強さを感じてほしい。今希薄になりつつある「家族愛」について考えさせられる作品となっているため、推奨したい。</p>	

平成23年度埼玉県推奨図書審査票

〔対象区分：高校・青年向け〕

諮問番号	図書名等	内 容	推奨の有無
1356	<p>四十九日のレシピ</p> <p>ポプラ社 1,470円 伊吹有喜／著</p>	<p>突然妻の乙美を亡くした良平の元に、乙美の教え子だったという井本という若い娘が訪ねてくる。井本は乙美に四十九日まで家族の面倒をみてくれるように頼まれたと言う。そこに夫との離婚を決意した良平の娘が帰ってくる。乙美の残したたくさんのレシピはさて……</p> <p>推奨図書選定理由</p> <p>何の前触れもなく、ある日突然家族を失った時、人はどのようにその「死」を受け入れ、再び前を向いて歩いていくことができるのだろうか。妻は日々の暮らしの知恵、家事の仕方、料理に至るまで、絵と共にたくさんのレシピを残していた。レシピに込められた深い愛に気付いた時、残された人々は希望と共に「今」を大切に歩み出す。優しさと愛が染み渡る作品。最後に全てがわかるファンタジーの要素も切なく胸に迫る。ぜひ、青少年に読んでほしい。</p>	
1357	<p>尼子十勇士伝 赤い旋風篇</p> <p>新日本出版社 1,785円 後藤竜二／著</p>	<p>16世紀戦乱の世、出雲の大名尼子氏と毛利氏の勢力争いを舞台に尼子君主に仕える家老、小姓衆、お馬番組それぞれが、忠誠と義理人情、私欲の狭間で葛藤する。主人公山中鹿之助の「信義」を貫く生き方が幼少時代から描かれている。</p> <p>推奨図書選定理由</p> <p>先ず時代小説の面白みに引き込まれる。一気に物語の世界に飛び込み、登場人物たちの生き様が映像のように目に浮かぶ。読書の面白さがわかる作品である。主人公山中鹿之助が持つ「信義」は現代社会にも通用するものであろうか。人に尽くすこと、裏切らぬこととはそこまで価値があるもののだろうか。読後に自分自身に問うてもらいたい。乱世に生きる人間の強さと悲しみが心に沁みる作品である。後藤竜二氏の遺作。</p>	
1358	<p>つばさものがたり</p> <p>小学館 1,575円 雫井脩介／著</p>	<p>癌に冒されていることを隠しながら東京でパティシエの修行に励む君川小麦。残された自分の時間を自分のために生きることを決意し、亡くなった父と、母の夢だった小さなケーキ屋を開くために故郷に帰る。失敗と挫折を繰り返しながらも夢を実現させるために頑張り抜く小麦。母と兄夫婦、甥っ子、そしてもう一人？が小麦を支える。</p> <p>推奨図書選定理由</p> <p>自分の人生の残り時間を知った時、人はどのようにそれを受け止め、それから生きるのだろうか。主人公は自分のために、夢のために時間を使うことを選ぶ。ひたむきにさまざまな障害を乗り越えようとする小麦。そして全力で小麦を支える家族たち。命の尊さ、夢の、そして生きることの大切さ。甥とその友人の存在が希望をもたらす。家族愛にあふれた心を打つ作品。たくさんの青少年に読んでもらいたいと思う。</p>	
1359	<p>魂の流木</p> <p>西村書店 1,575円 マイケル・S・コヤマ／著</p>	<p>父親が戦犯に問われ、孤児となった文治(ふみはる)は日本の孤児院や闇市で暮らす。筆舌に尽くしがたい苦勞の末、彼はどん底から這い上がり、東京大学へ入学する。しかし、東大も中退し、アメリカへ渡る。そこで大学を卒業し、平穏な日々が訪れるかと思いきや、召集令状がくる。将校となった彼。しかし、国籍取得と引き替えに、彼はヨーロッパ各地での諜報活動に従事しなければならなかったのだ……</p> <p>推奨図書選定理由</p> <p>著者は世界的に有名な経済学者。その彼の自伝的小説。とまかく彼の生き方に圧倒される。日本人の父とタイ人の母を持つ主人公は、時代の激流に飲まれ続ける流木のような人生を送る。しかし、彼は流れに逆らい生きようとする魂を持った流木であった。彼の人生を支えた「危険を恐れず生きる」という父親の最後の言葉をまた、高校生や青少年に贈りたいと思う。運命を切り開けと。強くなれと。逆境にある時でも、生きる勇気がもらえる作品である。</p>	
1360	<p>世界で一番美しい元素図鑑</p> <p>創元社 3,990円 セオドア・グレイ／著</p>	<p>見開き2ページにひとつの元素が紹介される。先ず左ページには純粋状態の元素が美しい迫力ある写真で載っている。右ページには写真とその元素がどのような状態で地球上に存在しているのか、どんな化合物があるのか。どのように使われているのかが解説されている。またそれぞれの元素に著者の絶妙なエッセイがついている。</p> <p>推奨図書選定理由</p> <p>先ずは写真の美しさに誰もが感動する。著者が「物理学の法則と人間の法律が所持を許す範囲」で収集した元素がこれでもか、これでもかと美しさで迫ってくる。元素記号で悩める高校生・青少年にまずはこれを見て自然界に存在するものの美しさや不思議さに感動して欲しい。そして著者の軽妙で、時にロマンチックな、時にユーモアあふれるエッセイを読み、新しい、そしてより深い化学の扉を開いて欲しいと願う。科学エッセイとしても傑出している。</p>	